

青少年のための科学の祭典2023 第18回亀山大会報告書

- 主催 「青少年のための科学の祭典」 亀山大会実行委員会
- 共催 公益財団法人日本科学技術振興財団
- 後援 文部科学省、亀山市教育委員会、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会、中日新聞社、伊勢新聞社
- 会場 亀山市青少年研修センター (〒519-0151 亀山市若山町7番10号)
- 開催日時 令和5年11月25日(土) 10:00~16:00
- 来場者数 来場者数(のべ人数) 823人
- 参加スタッフ数(のべ人数)
実行委員・スタッフ 38人
ボランティア 70人 合計 108人
- 実施内容
第18回亀山大会は、22ブースを出展することができ、子ども・大人あわせて823名の来場者があり大盛況であった。様々な活動に参加し、科学に関する実験や工作を体験することで、子どもたちに科学の面白さや楽しさを感じさせ、科学に対する興味や関心を持たせるという目標は達成できたと考えている。また、今大会で18回となり、亀山市内のイベントとして定着しており、子どもや保護者から、来年も同じように開催してほしいという強い要望がある。来年も開催できるよう準備を進めていきたい。一人でも多くの青少年に、科学のおもしろさと不思議さを体験してもらい、興味・関心を深めてもらいたいと考えている。
- 出展数 22ブース出展
- 出展タイトル一覧
1. 「えきたいちっそ」ってどんなもの? (学校関係OB)
 2. 水の力でふしぎお絵かき (亀山市立神辺小学校)
 3. カルメ焼きを作ろう! (亀山市立亀山東小学校)

4. 紙ブーメランを飛ばそう！（亀山市立昼生小学校）
5. ビニール袋で遊ぼう ～かさ袋ロケットとホバークラフト～（亀山市立関中学校）
6. スライムをつくろう！（亀山市立中部中学校）
7. 色が変わる不思議なコマ（亀山市立中部中学校）
8. ラムネ作りをしよう！（亀山市立亀山中学校）
9. 静電気を体験しよう（亀山市立亀山中学校）
10. 電気であそぼう（三重県立津東高等学校）
11. 強力な磁石で遊ぼう（三重県立四日市工業高校）
12. CD分光器をつくろう（学校関係OB）
13. 水中ハノイの塔（啓林館（株）東海支社）
14. 立体ホログラムを作ろう（大日本図書（株）中部支社）
15. ローソクでメリーゴーランド（学校関係OB）
16. 鈴鹿川水系の魚たち（亀山の自然環境を愛する会）
17. 鈴鹿川水系の生き物（魚と子どものネットワーク）
18. 錯視の世界と♥がイッパイ（三重大学伊賀研究拠点）
19. 「目の不思議」3Dメガネで宇宙へGO！（坂下星見の会）
20. 木の実を使った木工工作（三重森林管理署）
21. 木製リニアを作ってみよう！（リニア中央新幹線推進 亀山市民会議）
22. カラフルな水の層をつくろう（学童保育所日の本クラブ）

□製作物

- ・チラシ：A4版／表紙カラー／製作部数：10,000枚
- ・来場者配布用出展案内：A4版／表紙カラー／4ページ／製作部数：1,000部

□広報活動

- ・チラシ配布 チラシを市内の幼稚園と保育園のすべての園児、小学校、中学校のすべての児童生徒に配布、鈴鹿市内の小学校の児童に配布、亀山市教育委員会と亀山市役所の各部署に配布 市内公共施設に配置（市役所・図書館・歴史博物館など）
- ・広報かめやま掲載（11月1日号）公益財団法人亀山地域福祉振興会財団たより掲載（11月号）
- ・中日新聞・伊勢新聞・毎日新聞などの数社及び、ZTVに情報提供
- ・伊勢新聞社（11月27日朝刊掲載）、ケーブルテレビZTV（11月27日より1週間放映）